



神話の國 出雲から自然の恵みが環境をかえる

川砂舗装材

オロチの砂

自然志向で天然素材 環境対応型防草砂 川砂舗装材 オロチの砂



安全な成分で構成

—分析結果から安全と評価—

・環境庁告示第46号「土壤汚染の環境基準」

人・動植物そして地球に環境負荷の少ない資材や工法の確立が強く望まれている今日。そうした中で川砂舗装材「オロチの砂」は、土壤汚染等の危険性もなく、環境に地球に、使う人にも優しい安全な環境対応型舗装材として誕生しました。また、不要時には埋め戻し資材として再利用もできま

防草効果

—基準施工厚で高強度・高効果を発揮—

主原料の他に水を含むと固まる働きを持つ無機系個化材と、その固化水分を均等に分散させ骨材(砂粒)を結びつける働きの添加剤、自然鉱物に含まれる雑菌の発生を防ぐ添加剤等々、全ての添加剤において天然素材から構成されています。

水と反応した後に水分が蒸発する過程で硬化反応が始まり、やがて強固な固体へと変化します。いったん完成体となった構造物は雑草が根付き発芽する事のない防草効果を発揮します。



1m²当たりの構造物の重量は65kg
(基本施行厚:40mmの場合)

(圧縮強度 5.0N/mm²)

地盤

透水と保水効果

—水溜りの解消・排水設備への負担軽減—

「オロチの砂」は、舗装材として使われているコンクリートやアスファルトと比べ大きく異なる点は透水性と保水性の両方を兼ね備えているところです。「オロチの砂」の構造物は雨水を一時的に貯留し緩やかに透水します。

その事から水溜りや豪雨流水時の排水設備への負担も軽減できます。



(透水係数 10⁻⁷cm/sec以下)

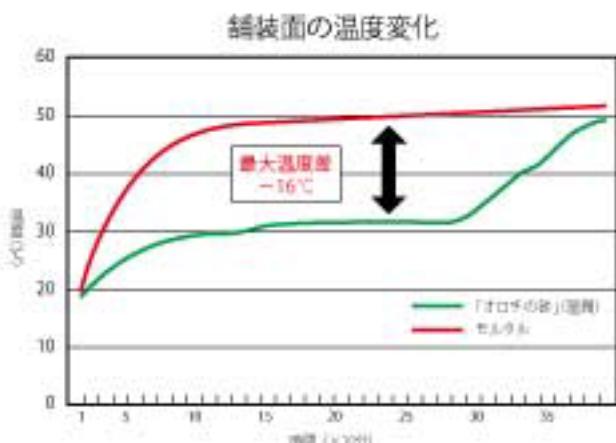
■オロチの砂とは…

奈良時代に編纂された古事記や日本書紀、そして「出雲風土記」にも登場する（古事記には「肥の川」、日本書紀には「籠の川」として記載）ほどの、神話に濃く彩られた斐伊川には、國引き神話（出雲風土記）や八岐大蛇（ヤマタノオロチ）伝説と言った多くの神話や伝説が残されています。その歴史と文化が息づく「神話の國 出雲」から、斐伊川河川砂という天然の恵みにあやかった川砂舗装材が「オロチの砂」です。

地表温度の抑制

—ヒートアイランド現象・地表温度の抑制—

「オロチの砂」は、真夏の太陽の照り返しを防ぎ、保水能力から打水効果を継続するなど、地表温度を抑制する省エネにも役立つ効果があります。



舗装表面温度が抑制される理由

・夏期における直射日光や乾燥により保水した水分が蒸発する際に、気化熱が周囲の温度を奪い、その結果舗装表面付近の温度上昇を抑制する原理です。

←左図は川砂舗装「オロチの砂」とコンクリート舗装、それぞれの温度上昇をグラフに示したもので、※コンクリート表面との最大温度差-16°C

簡易な施工性

—一般家庭から公共工事で選ばれる理由は!—

「オロチの砂」は、その場で開封して使えるミックス製品です。現場等での練り工法とは異なり、特殊な機械や熟練工を必要とせず、舗装材を敷き均した後に散水するだけの極めて簡易な施工性を実現化した製品です。

配合材の片寄りがなく施工後の表面剥離やムラといった発生を抑えた製品です。



自然な景観

—素材の持つ質感・色合をそのままに表現—

「オロチの砂」は、河川砂の質感や色合、また自然な景観に溶け込む、自然と調和した空間づくりに適した製品で、庭園・公園・墓地・歩道などの舗装材料として広く適応できる製品です。また使う場所に応じた4つの表層仕上げにより、従来の土系舗装材にない演出が醸し出せるのも特徴の

自然仕上げ



転圧仕上げ



微粒仕上げ



コート仕上げ



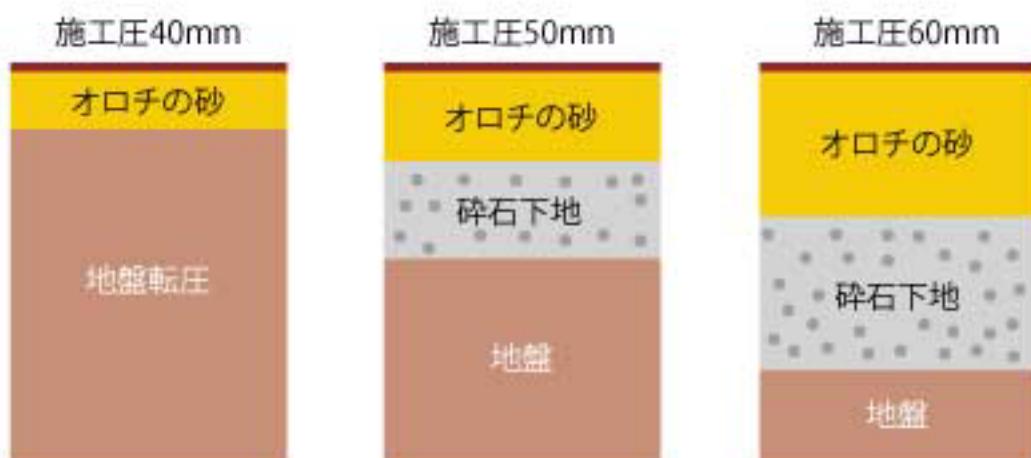
■使用目安(施工条件)

川砂舗装材「オロチの砂」は、施工厚さを変えることで施工場所や目的・用途に応じた強度を発揮させています。

用 途	施工厚	m ³ /使用目安	下地処理	使用条件
防草・庭・墓等	40mm	2.6~3袋	地盤転圧	防草目的で人・自転車の乗り入れがある
庭・通路等	50mm	3.2~4袋	碎石 t:50mm~	人・軽自動車の乗り入れがある
通路・駐車場等	60mm	3.9~5袋	碎石 t:100mm~	2t未満の車両乗り入れがある

※下地の条件が強度に大きく影響を及ぼします。必要に応じて碎石等で強固な下地路盤をつくることをお勧めします。

【施工断面図】



※あくまでも基本パターンです。地盤状況に適応した下地処理を行ってください。

■施工手順

①防草・下地整正

施工する箇所の雑草や障害物を取り除き、下地の凹凸ができる限りないように転圧整正します。

②敷き均し

「オロチの砂」を用途・目的の厚さに、トンボやコト等を使い表面が平たくなるよう敷設します。

③散水

初回の散水は噴霧器を使い、表面全体を安定させる形で湿る程度に2・3回行います。次に本格散水をホース散水(シャワーノズル)で、水圧や水滌りに注意し数回繰り返し行います。

④養生・完成

施工箇所への立ち入り等に注意し、4~5日養生を行います。天候・季節により養生期間を考慮してください。

【使用・施工に関する注意事項】

- 地盤の不整正や下地処理を十分に行ってから施工して下さい。
- 柔らかい地盤に施工すると、ひび割れが発生する恐れがあります。必要に応じて碎石などで強固な路盤を作ることをお勧めします。
- 散水量(15ℓ/m³以上)を目安に行って下さい。
- 散水時に一度に大量の水や水圧を当けると色ムラや表面乱れの原因となります。
- 冬期の低温(15℃以下)や強風時には作業を行わないで下さい。
- 車両等の重量物が乗る場合は5cm以上の厚みにし、碎石路盤を作ることをお勧めします。
- 開封後は早めにご使用下さい。
- 取り扱いの際は適切な保護具(ゴム手袋・マスク等)を着用して下さい。
- 取り扱い後は顔や手、口などを清潔な水で洗浄して下さい。
- 万一目に入った場合は速やかに大量の清水で洗浄し、状況に応じては眼科医の診断を受けて下さい。
- 湿気や雨露等の当たらない屋内で養生のうえ保管して下さい。
- 天然素材の為、多少の粒や色のばらつきが発生する恐れがあります。
- コテ均しの際に粒が部分的に集中する恐れがあります。
- 水が浸透しない地盤に施工すると表面に水たまりが出来ることがあります。

(有)コピーセンター 隆 エコ事業部

TEL 0853-30-0432

出雲市大津新崎町6丁目19-1 FAX. 0853-21-0204
<http://www.copitaka-eco.com>

販売・施工